

杉並第一小学校

読書の幅を広げ、読書に親しめる 開かれた学校図書館

今の学校図書館

本校は、開かれた使いやすい図書館を目指し、学校司書による学校図書館の管理・運営と学習支援を行うとともに、児童の読書をしようとする意欲や、調べる力を向上させるための環境を整え、主体的に学習する態度と豊かな心を育むことを目標としている。

そのため、図書の授業では、司書による本の紹介や読み聞かせを実施したり、学年に応じた読みやすい本の選定を行ったりすることで、児童が発達段階に合った本に出会いやすい工夫をしている。

学校図書館の運営

- ・学校図書館のよりよい活用のため、年度始めには、学校司書による図書館オリエンテーションを実施している。
- ・学校図書館だよりを作成し、本の紹介や本に親しめる取組の発信をしている。
- ・各学年のおすすめ図書リストを作成し、児童の発達段階に合った図書に親しめる工夫をしている。

1年間の主な活動

- ・司書によるオリエンテーション
- ・図書ボランティアの募集
(本の修理、掲示物の作成、読み聞かせ)
- ・地域の図書館を利用した団体貸し出し
- ・図書委員による本の貸し出しの当番活動
- ・6月、11月に読書月間の実施
(読み聞かせ、本の紹介、図書コラボ給食など)

これからの学校図書館

児童は読書活動を楽しみながら行うことができている。今後は、より児童が主体的に学校図書館を利用し、読書の幅を広げることができるよう、図書委員会の児童が考案した取組等、児童が主体となって発信できるような読書活動の取り組みに一層力を入れていきたい。

特色ある取組

～読書月間を、6月と11月に実施～

- ・図書委員、保護者による読み聞かせ



(児童による読み聞かせ)

- ・図書コラボ給食の実施
- ・先生のおすすめの本の紹介

(本の紹介コーナー)



- ・司書による各学年のおすすめ図書の棚の整備と読書チェックリストの作成
- ・学校行事や季節に合った本の紹介コーナーの設置

(運動会関連の本の紹介)



- ・新聞と雑誌のコーナー



(新聞にちなんだ本の展示)

- ・入口すぐの杉一小学年別
おすすめの本のコーナー

